

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成20年2月7日 (2008.2.7)

【公開番号】特開2007-144069(P2007-144069A)  
 【公開日】平成19年6月14日 (2007.6.14)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-022  
 【出願番号】特願2005-354103(P2005-354103)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 5/41 (2006.01)

A 6 1 H 19/00 (2006.01)

A 6 1 N 2/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/41

A 6 1 H 19/00

A 6 1 N 1/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月25日 (2007.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柔軟な素材から成る筒状体に、その長手方向へ向かって筒状体の一端部である装着口から他端部に抜けるスリットが設けられているかまたは装着口から他端部への途中までスリットが設けられており、且つ筒状体の他側から前記装着口の方へ被せることが出来るように柔軟な素材から成るカバーが備えられていることを特徴とする陰茎補強具。

【請求項 2】

前記スリットが複数設けられている請求項 1 に記載の陰茎補強具。

【請求項 3】

前記カバーがコンドームである請求項 1 に記載の陰茎補強具。

【請求項 4】

前記カバーが筒状体の他側に巻かれた状態で備えられている、請求項 1 に記載の陰茎補強具。

【請求項 5】

前記カバーが、装着口の方へ被せた時にリング状の巻き残り部を生ずるような長さを有している、請求項 4 に記載の陰茎補強具。

【請求項 6】

前記筒状体の少なくとも装着口の近くに、前記カバーの端部を掛止するための山越えが設けられている、請求項 1 に記載の陰茎補強具。

【請求項 7】

前記筒状体の周囲に突起が設けられている請求項 1 に記載の陰茎補強具。

【請求項 8】

更に陰茎を周囲から締め付けるリングを備えている請求項 1 に記載の陰茎補強具。

【請求項 9】

前記リングに磁石またはゲルマニウムが取り付けられている、請求項 8 に記載の陰茎補強具。

【請求項 10】

前記筒状体が、陰茎に振動刺激を与えるためのバイブレータを備えている請求項 1 に記載の陰茎補強具。

【請求項 11】

前記リングが、陰茎に振動刺激を与えるためのバイブレータを備えている請求項 8 に記載の陰茎補強具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の課題は、シリコン樹脂等の柔軟な素材から成る筒状体に、その長手方向へ向かって筒状体の一端部である装着口から他端部に抜けるスリットが設けられているかまたは装着口から他端部への途中までスリットが設けられており、且つ筒状体の他側から前記装着口の方へ被せることが出来るように柔軟な素材から成るカバーが備えられていることを特徴とする陰茎補強具とすることで達成される。この筒状体は柔軟な素材からなるため陰茎や膣を傷付けるようなことがない。また筒状体は陰茎を支えてその中折れを防止するためにある程度の厚みを有するが、筒状体としたことによって陰茎に装着した際に亀頭が筒状体の先から突出するため、亀頭で受ける感覚が鈍るようなことがない。この筒状体には装着口にスリットが設けられているため装着口あるいはスリット径を広げることができる。従って大きな陰茎にもまた中折れなどのどのような状態の陰茎にもフィットするのである。これが単なる筒状体であるとうはいかないのである（第 1 実施形態を参照）。このようにして装着した後、前記カバーを以て前記装着口へ向けて筒状体を被覆するようにすると、前記スリットが設けられているにも係わらず筒状体を回りにから締め付けて、容易には脱落しないようにすることができる。またカバーによる締め付け力は小さな陰茎にこの筒状体をフィットさせるのに役立つ。このようにして陰茎の勃起状態を補強することができるのである。またカバーは後述するように筒状体と一体のものとしても良いし、別体のものでしても良い。なおスリットは着物の前身ごろのごとくスリットの両側の部位が重なり合うように形成しても良い。またスリットは装着口から他端部へ抜ける切り裂き部とすることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

次に請求項 1 に記載の陰茎補強具に於いて、前記カバーがコンドームであるものとしてすることができる。亀頭は筒状体の先から突出しているため、カバーにコンドームを用いることにより避妊の効果が期待できる。しかも亀頭を覆うものがコンドームであるため亀頭で受ける感覚を鈍らせるようなことがない。なおコンドームを筒状体とセット販売することができる。例えば 1 つの筒状体に対してコンドームの 1 ダースを組み合わせ提供するのである。またコンドームは巻かれた状態で筒状体の他側に備えるようにすることができ、この場合筒状体を陰茎に装着すると直ぐにカバーできる体勢となるため使い勝手が良い。また後述する山越えの構成を採用して、筒状体に被せたコンドームの端部をこの山越えに掛止させるようにすると、コンドームが巻き戻ることが抑制され、筒状体が陰茎から外れにくくなる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

次に請求項1に記載の陰茎補強具に於いて、前記カバーが筒状体の他側に巻かれた状態で備えられているものとすることができる。この構成によれば筒状体の陰茎への装着時にカバーを一旦筒状体の一端部である装着口の側から筒状体の他側へ外すというような作業を行なう必要がない。すなわちカバーは他側に巻かれた状態にあり、スリットは開かれた状態にあるため、そのまま陰茎へ装着することができる。その後他側に巻かれた状態のカバーを装着口の方まで巻きを壊すようにして広げてスリットの部位を覆うようにするのである。次に筒状体を陰茎から取り外す際には、先ずカバーを筒状体の他側へ巻き戻してスリットの部位を露出させるようにすれば良い。なお前記カバーが、装着口の方へ被せた時にリング状の巻き残り部を生ずるような長さを有しているものとすることができる。この巻き残り部には後述するリングと同様の作用がある。すなわち巻き残り部はリングの一種であり、このリングによって陰茎の周囲、特に陰茎の付け根付近を締め付けることによる勃起状態の維持作用が認められる。また巻き戻す際にはこの巻き残り部が芯の役目を担うため扱いやすくなる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

次に請求項1に記載の陰茎補強具に於いて、前記筒状体の周囲に突起が設けられているものとすることができる。この突起は筒状体に被せられたカバーにも現われ、これにより腔内壁を刺激することができるが、突起は直接的に腔内壁に触れるのではなくカバーを介して間接的によりソフトに触れるのである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

次に請求項1に記載の陰茎補強具に於いて、前記筒状体が、陰茎に振動刺激を与えるためのバイブレータを備えているものとすることができる。いわゆる中折れ状態の陰茎に振動刺激を与えると陰茎が力を回復する場合のあることが知られている。従ってこの発明の更なる課題として、陰茎への装着が極めて容易であると共にどのような状態の陰茎にも適合して脱落しにくく、且つ陰茎に対して振動刺激を与えることができるような、そうした陰茎補強具の提供を上げたわけである。前記バイブレータは一般的に偏心重錘を有するモータによって構成されているものであり、このモータに電池とスイッチとが接続されている。また例えば特表2003-514608のように、更に前記モータの動きを細かく制御するためのコントローラが接続されているものがある。このようなバイブレータを筒状体が備えて、これを装着した陰茎に対して振動刺激を与えることにより、筒状体が陰茎の勃起力を高める際の一助となる。またこの振動刺激は性交時には陰核や腔内壁にも伝わることもある。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１６】

なお請求項８に記載の陰茎補強具に於いて、前記リングが、陰茎に振動刺激を与えるためのバイブレータを備えているものとすることができる。リングは陰茎を周囲から締め付けるためのものであるが、これにバイブレータを設けているため、陰茎に対して振動刺激を与えることができる。また上記同様に性交時には陰核や膣にも振動刺激を与えることができる。

## 【手続補正８】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】００１７

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１７】

この発明の陰茎補強具は、シリコン樹脂等の柔軟な素材から成る筒状体に、その長手方向へ向かって筒状体の一端部である装着口から他端部に抜けるスリットが設けられているかまたは装着口から他端部への途中までスリットが設けられており、且つ筒状体の他側から前記装着口の方へ被せることが出来るように柔軟な素材から成るカバーを備えているため、装着口を広げることができて中折れなどのどのような状態の陰茎にもフィットし、カバーが筒状体を回りから締め付けて容易には脱落しないようにすることができる。すなわち陰茎への装着が極めて容易であると共にどのような状態の陰茎にも適合して脱落しにくいという効果を奏する。この発明の陰茎補強具は勃起障害の治療薬を飲めないあるいは飲まないという人のために最適なものとなるが、また治療薬の補助的な使い方も可能である。なおバイブレータを備えているものでは陰茎に振動刺激を与えることができるため、陰茎の勃起力を高める一助となる。